

# 宮古教育時報

発行者 沖縄県教職員組合  
 宮古支部 情宣紙  
 TEL 72-3328 FAX 73-2603  
 ◇ 各分会の情報をお知らせ下さい。  
 E-mail: otu-m@miyako-ma.jp

## 遊びを通してつながる楽しさ！ 教育活動の中で関係性、共感力を育む

10月22日(金)、第57次支部教育研究集会分科会の一環として、西城中学校(3年生を対象)で特別活動(主題:人は人とのつながりで成長する)の公開授業をスクールカウンセラーの喜瀬乗進先生(元平良中教頭先生)に行ってもらいました。沖縄は遊び型非行の不登校生が全国平均の3倍以上で、スクールカウンセラーや相談員等が学校現場にも配置しているが増加傾向に歯止めがかからない要因として、子どもたちが共同で学校をつくっていくという自治の力を育てていないからではないかと指摘、仲間の話を聴いたり・自分のことを語ったりすることができる共感力を育てることは共生の社会を生きていく上で必要であり、集団で遊んだり考えたりする体験活動を通してそのような共感力が育つとの考えをもとに今回の授業を行った。

授業の導入では、「そうですね～」を返答に自分の良いところや友達の良いところを声に出してという活動から始まり、気持ちを合わせる目的でペアでノコギリを引く動作を行う「丸太切り」や周りの空気を感じながら自分の表現する「KY」ゲーム、チームワークの大事さを実感させる集団ジャンケンなど多彩な活動を行った。授業中、生徒たちは終始笑いあいの和やかな雰囲気に入れられ、遊びを通して楽しみながらつながることの大切さを学んでいた。

授業後の生徒たちは、「協力することの大切さを実感した」「話し合うことの大変さやルールの大変さを知った。早速、学校生活や来週からの修学旅行でのレク等で生かしたい」「全校生徒でやってみたい」などと前向きな感想や抱負を述べていた。



心温まる歓迎の掲示物

ちょっと照れくさそうな生徒会長

超大盛りあがりの人間知恵の輪

公開授業の翌日は東小にて分科会が開催された。毎年参加人数も多く大盛況の学校保健分科会をはじめ教育相談分科会、学校事務分科会や国語教育分科会などのべ100名近くの有志らが日頃の実践を持ち寄り意見交換や悩み等を話し合った。

教研集会は管制研修と違い、ざっくばらんの雰囲気で行う自主的・民主的な研究集会です。多忙化の中開催されなかった分科会もありましたが、是非来次教研集会へも多くの方が足を運び、お互いの教育実践を共有できることを期待します。子どもを中心に据えた教育実践の確立をめざし、小さくても日々のコツコツとした教育実践の積み重ねが、やがて大きな「教研の灯」に繋がっていくように、今後ともお互い手と手を合わせ協働していきましょう！

今回の支部教研のステップとして中央教研には、宮古支部から次の4本のレポートが提起されます。学校保健、保健体育(小学校)、算数そして学校事務です。中央教研報告もお楽しみに！

6月の発足集会から約半年間にわたり教育実践講座や教育講演会の取り組みが行われてきましたが、今後とも定期的に実践講座やワークショップ等を継続して生きたと考えています。要望等がございましたら、お気軽に支部までお寄せ下さい。

最後に、これまで色々ご協力してくれたみなさん、本当にありがとうございました。またよろしくお祈りします。(感謝)

# 民主的教育推進へ！

伊ハ洋一氏 推薦決定！

沖教組教育新聞（号外2010年10月21日発）でもご存じかと思いますが、沖縄県教職員組合は、来る県知事選挙立候補予定者 伊ハ洋一氏を組織推薦することを決定しました。伊ハさんは5つの基本姿勢を明らかにしていますが、教育の分野では、「自

主性、主体性、思いやりをはぐくむ民主教育をすすめる。歴史教科書検定意見の撤回を求めると同時に、沖縄の歴史・伝統文化を大切に、学術・文化・スポーツを花開かせる。」を挙げています。詳細については沖教組教育新聞を参照。

宜野湾市長時代は普天間基地問題で大きくクローズアップされてきた“ぶれない”伊ハ氏ですが、教育施策についても実態の詳細な分析を行い、その結果に基づいた的確な対策をしっかりと行ってきた方です。また、沖縄の経済振興についてもしっかりとしたビジョンと緻密なデータ分析を行っており、若さと行動力があり、柔軟な思考力と充実した気力が漲る今後沖縄の変革を担うに相応しい人物であり、わたしたち沖教組運動方針に合致した立候補予定者であることが推薦の理由です。

伊ハさんは離島振興にも意欲的で、宮古・八重山地域の活性化策として、第一次産業の振興、航空運賃の低減、離島を結ぶ客船の確保等にも触れ、離島住民の生活向上に積極的に取り組む考えを強調しています。県立宮古病院については、「病院経営をしっかりと支えていきたい。独立法人化では決して守れない。従来の経営方針を維持していく」との姿勢を示し、医師の確保についても取り組んでいくことを明確にしています。また、先島への陸自配備問題等については、「下地島空港の軍事化、自衛隊の同空港使用、自衛隊配備、さらに米海軍の宮古寄港には反対したい」と強調。平和な未来のためにも是非伊ハさんに頑張ってもらいたいと思います。

私たちが子どもたちの平和で明るい未来実現のためにも団結して、“新しい沖縄へ”一歩を進めていきましょう。

## 取ったど〜！ 特例措置撤廃へ！！

2011年1月から2012年3月まで15ヶ月分

これまで何度も粘り強く交渉を積み重ねてきた結果、10月26日の三者統一（県職労、高教組、沖教組）において、県当局はよう

やく来年の1月から特例措置を廃止することを提案しました。詳細はファックスニュース（10月27日付け）にて。（必読）

額にして約21万円（15ヶ月分）〈40歳教諭：2級100号給の場合〉がカットされずにすみませう。この間の涙ぐましい交渉の成果が実りました。昨年度の約8万円バックに引き続き、これも組合の力です。賃金をはじめ私たちの諸権利は組合の交渉によって積み重ねてきたものです。組合員のみならず、そして交渉へ参加されたみなさん本当にありがとうございました。

タンディガータンディ！（感謝）

2011年度人事異動に関する要求書を10月25日に提出し、人事異動担当と話し合いを持ちました。その中でも、学校長による具申権の内容についての確認や情実

## 人事異動要求書提出

宮古教育事務所にて

人事がないように徹底することを要求しました。また、臨任の方の一学期間の部活指導等軽減についても話し合われ、担当からは「教育事務所としては学校経営にまで口出しは出来ないが、4月の校長会で事務所長が各校長に臨任の方が採用試験勉強に取り組めるよう配慮して欲しいとのお願いはしている。」また、臨任の方たちへも「学校長へ自ら部活指導軽減についてお願いしたり、極力飲み会などを控え勉強に集中するように自覚して欲しい。」と、話しはしているとのこと。組合に対しては、「採用試験対策講座など勉強する場を設けてもらい大変感謝している」などの話がありました。

その他にも、「事務職員の臨任の割合が多く、定数内であれば本務配置をして欲しい」との要求をしました。具体的内容については、2011年度支部人事異動学習会（10月28日実施）にて説明しました。学習会資料（不参加の学校へ）は後日配布予定です。

人事異動に関して疑問点や相談がございましたら、各分会長はじめ支部の方までお気軽にお問い合わせ下さい。早目の対応が肝心です。特に他地区異動希望や管外からの方、特殊事情のある方は早目の対応が必要です。一人で悩まずお気軽に相談を！

## 支部幼稚園学習会のお知らせ

幼保一元化の動きが急速になり待ったなしの状況です。幼稚園教諭の身分に関わる大事な学習会を緊急に開催します。日時は11月8日（月）17:00～より宮古教育会館2Fにて。講師は山本隆司中央執行委員長。幼稚園教諭への呼びかけをよろしくお願いいたします。（至急）